

2027年3月期 第1四半期決算説明資料

2026年8月7日

クオールホールディングス株式会社

東証プライム：証券コード 3034(The Prime Market of the Tokyo Stock Exchange 3034)

連結業績

- ・製薬事業は新製品発売と原価低減により増収増益を実現、連結業績を牽引
- ・薬局事業においても、処方箋単価の上昇により売上高の伸長を下支え



薬局事業

増収減益

- ・地域支援・医薬品供給対応体制加算等の取得が進み、技術料単価が上昇したことで売上高は微増
- ・一方で、処方期間の長期化等により受付回数が減少



BPO※1事業

増収増益

- ・CSO事業※2において、派遣MR活用ニーズの増加を背景として派遣数が増加



製薬事業

増収増益

- ・2026年3月期に発売した2成分5品目が大きく寄与し、既存品の原価低減も実現

※1 BPO:Business Process Outsourcing ※2 CSO事業:コントラクトMR派遣事業

連結業績ハイライト

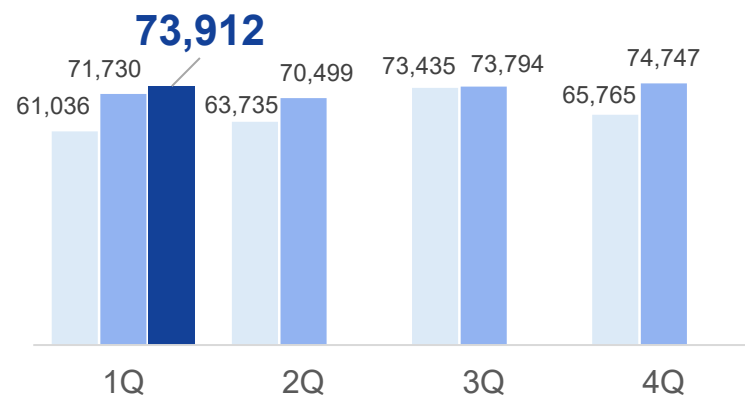


(単位:百万円)	2025年3月期 第1四半期 実績	2026年3月期 第1四半期 実績	2027年3月期 第1四半期 実績	増減額	増減率(%)
売上高	61,036	71,730	73,912	2,181	3.0%
EBITDA※	4,837	5,958	8,757	2,798	47.0%
営業利益	2,915	3,592	6,183	2,591	72.1%
経常利益	2,966	3,635	6,159	2,524	69.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	843	1,856	3,002	1,145	61.7%
1株当たり 四半期純利益(円)	22.59	49.43	79.90	30.47	61.6%

※ 営業利益+減価償却費+のれん償却額

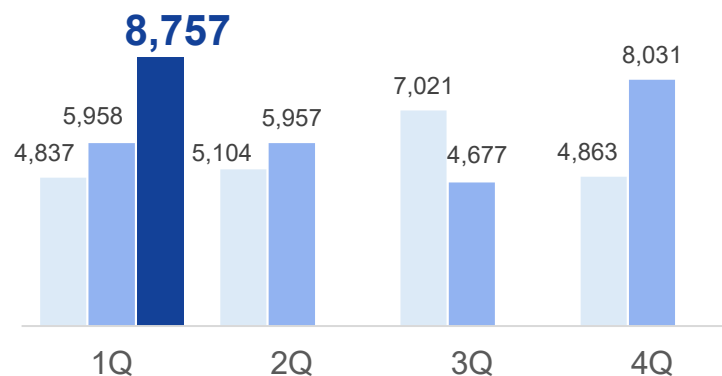
売上高

(百万円) 2025/3 2026/3 2027/3



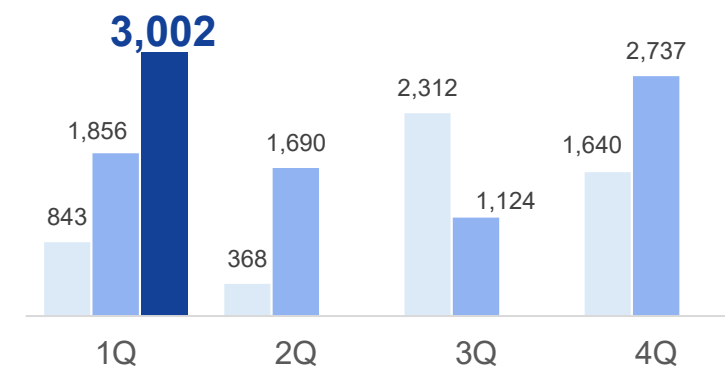
EBITDA

(百万円) 2025/3 2026/3 2027/3



親会社株主に帰属する四半期純利益

(百万円) 2025/3 2026/3 2027/3



連結損益計算書



(単位:百万円)

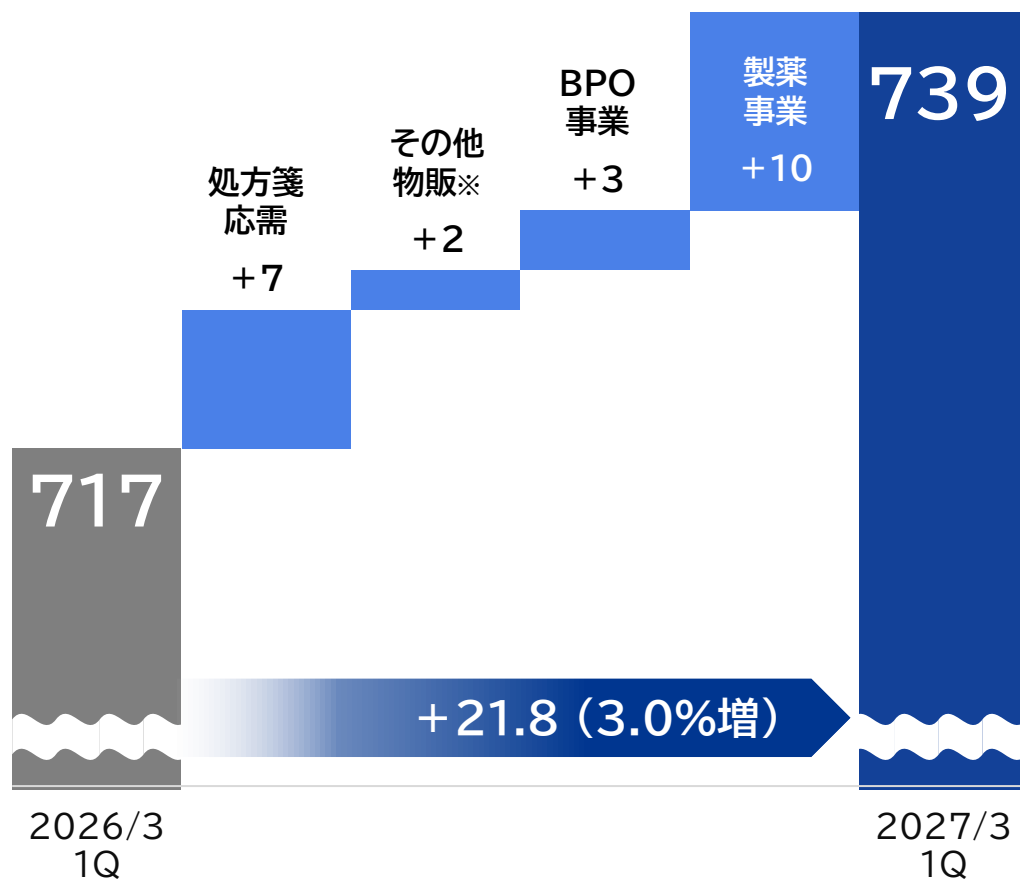
	2026年3月期 第1四半期 実績	2027年3月期 第1四半期 実績	増減額	増減率(%)
売上高	71,730	73,912	2,181	3.0%
売上原価	61,344	60,886	△458	△0.7%
売上総利益	10,386	13,025	2,639	25.4%
販管費	6,793	6,842	48	0.7%
営業利益	3,592	6,183	2,591	72.1%
利益率	5.0%	8.4%	—	—
経常利益	3,635	6,159	2,524	69.5%
利益率	5.1%	8.3%	—	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,856	3,002	1,145	61.7%
利益率	2.6%	4.1%	—	—
EBITDA	5,958	8,757	2,798	47.0%

(単位:百万円)

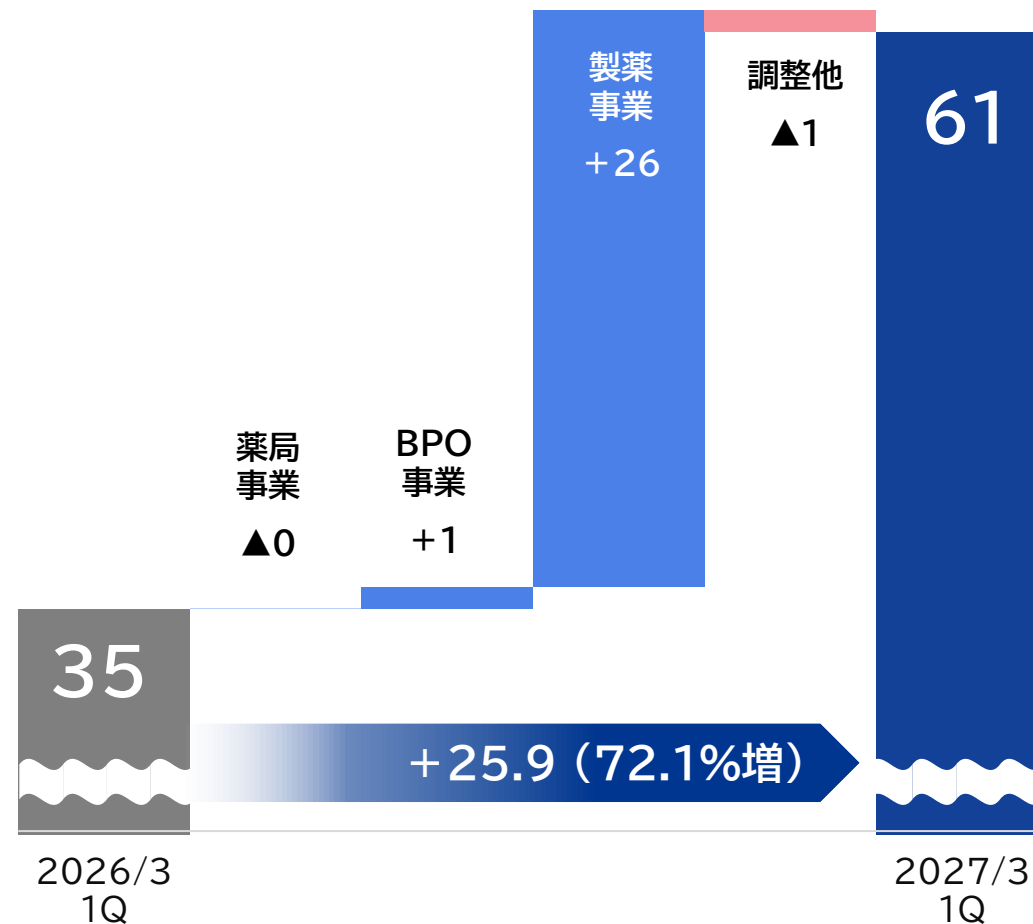
	2027年3月期 第1四半期 実績	2027年3月期 第2四半期(累計)計画	進捗率	2027年3月期 通期計画	進捗率
売上高	73,912	149,500	49.4%	315,000	23.5%
EBITDA	8,757	13,700	63.9%	28,700	30.5%
営業利益	6,183	8,400	73.6%	16,500	37.5%
経常利益	6,159	8,400	73.3%	16,500	37.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,002	4,100	73.2%	7,800	38.5%
1株当たり 四半期純利益(円)	79.90	109.11	73.2%	207.57	38.5%

増減要因(前年同期比)

売上高(億円)



営業利益(億円)



※OTC販売、ローソン店舗物販等

連結貸借対照表



(単位:百万円)

	2026.3.31	2026.6.30	増減額
流動資産	59,277	66,709	7,431
現金及び預金	21,401	25,697	4,295
固定資産	98,838	96,977	△1,861
有形固定資産	17,801	17,648	△152
無形固定資産	69,962	68,413	△1,548
投資その他の資産	11,074	10,915	△159
資産合計	158,116	163,686	5,569
流動負債	76,134	79,521	3,386
固定負債	22,141	22,629	487
負債合計	98,276	102,150	3,874
有利子負債	37,675	38,504	828
純資産	59,840	61,535	1,695
自己資本	57,452	59,441	1,988
負債純資産合計	158,116	163,686	5,569

(単位:百万円)

流動資産	+7,431
現金及び預金	+4,295
商品及び製品	+2,105
固定資産	△1,861
のれん	△1,053
流動負債	+3,386
買掛金	+4,606
短期借入金	+1,000
未払法人税等	△1,624
固定負債	+487
長期借入金	+155
純資産	+1,695
利益剰余金	+1,987
非支配株主持分	△292

セグメント概況



(単位:百万円)

2026年3月期 第1四半期
実績

2027年3月期 第1四半期
実績

前年同期比
増減率



薬局事業

薬局事業売上高	42,840	43,694	2.0%
セグメント利益	1,751	1,669	△4.7%
利益率	4.1%	3.8%	



BPO事業

BPO事業売上高	3,483	3,836	10.1%
セグメント利益	493	649	31.5%
利益率	14.2%	16.9%	



製薬事業

製薬事業売上高	25,407	26,381	3.8%
セグメント利益	2,315	4,940	113.3%
利益率	9.1%	18.7%	



増収減益

- ・ 地域支援・医薬品供給対応体制加算等の取得が進み、技術料単価が上昇したことで売上高は微増。
- ・ 一方で、処方期間の長期化等により受付回数が減少

(単位:百万円)	2026年3月期 第1四半期		増減率
	実績	2027年3月期 第1四半期 実績	
売上高	42,840	43,694	2.0%
セグメント利益	1,751	1,669	△4.7%

主な増減要因



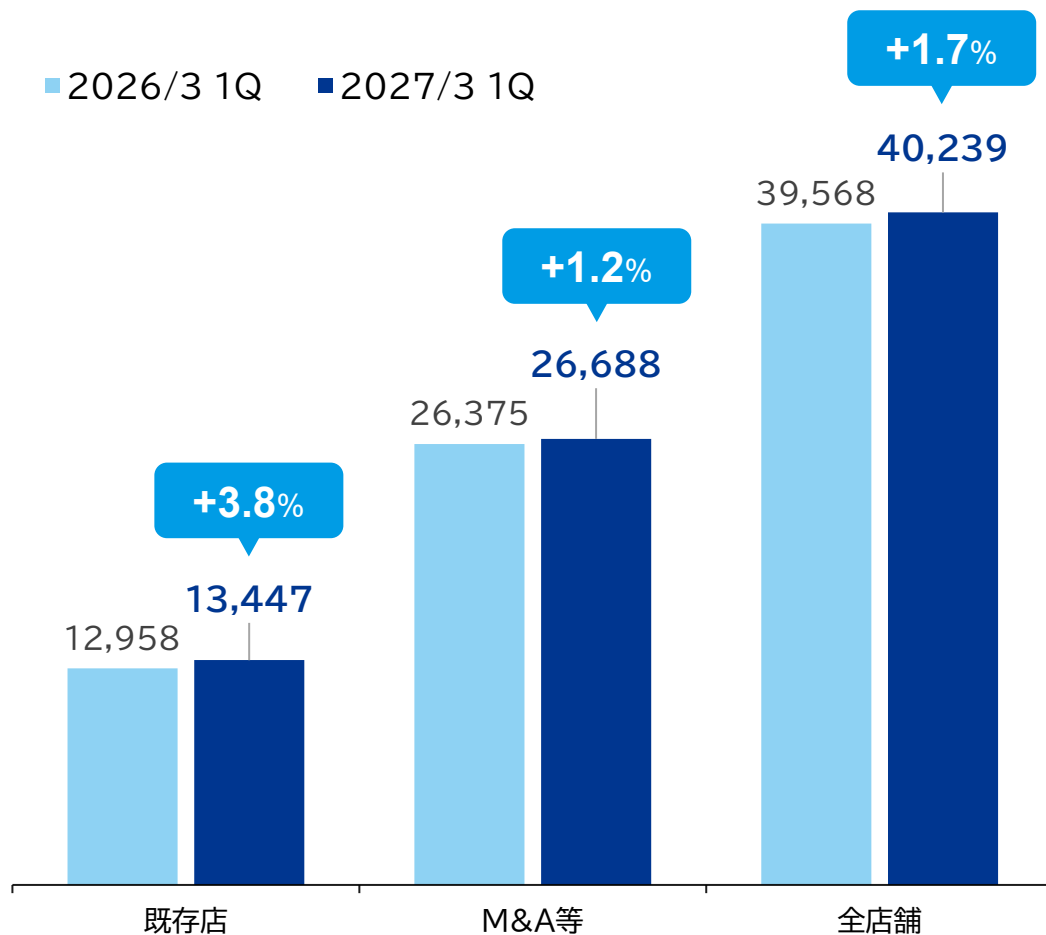
- 薬価改定(4月)
- 調剤報酬の一部見直し(4月)
 - ・ DX加算要件の厳格化

- 薬価改定(4月)
- 調剤報酬改定(6月)
 - 主な変更点
 - ①調剤基本料の見直し
 - ②GE加算と地域支援体制加算の統合
- 選定療養制度の見直し(6月)
 - ・ 後発医薬品使用促進

調剤売上高(百万円)

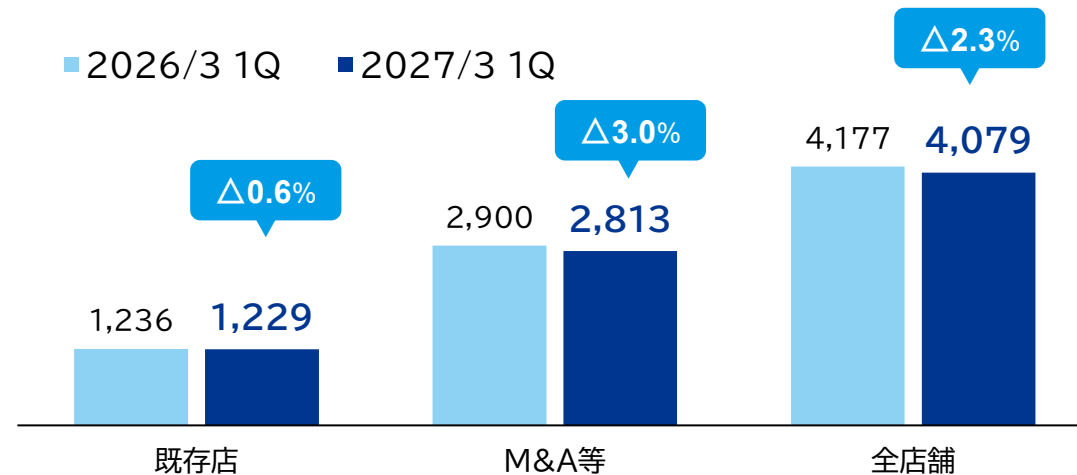
調剤売上高 = 処方箋応需枚数 × 処方箋単価

■ 2026/3 1Q ■ 2027/3 1Q



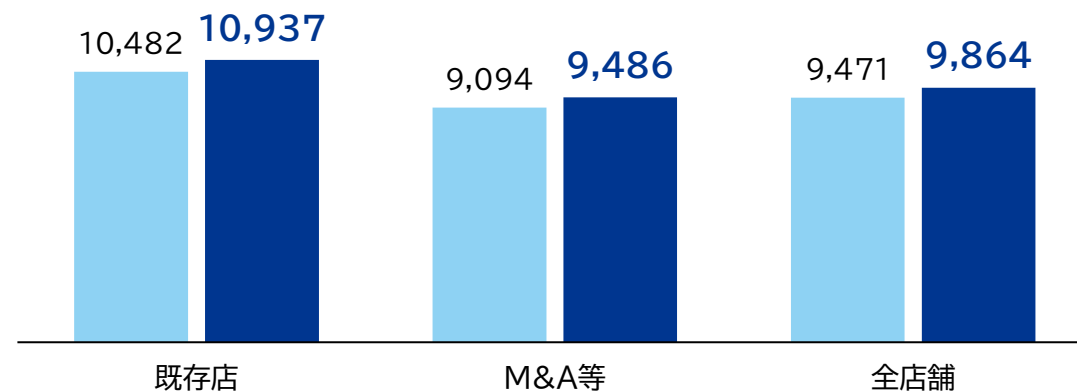
処方箋応需枚数(千枚)

■ 2026/3 1Q ■ 2027/3 1Q



処方箋単価(円)

■ 2026/3 1Q ■ 2027/3 1Q



※新店は除く

Copyright © Qol Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

2026年度調剤報酬改定の概要

- ① 薬局・薬剤師の対人業務の更なる推進
- ② 地域の医薬品供給拠点としての役割を発揮
- ③ 物価高騰対応及び医療従事者に対する賃上げ対応
- ④ 在宅医療の評価見直し



【対応】

- ✓ 在宅医療への積極的な参画や
地域の医薬品供給体制の強化を継続
- ✓ 在宅対応店舗の拡大と薬局機能の
高度化を進め地域医療への貢献を高める

調剤基本料

基本料1	45→47点
基本料2	29→30点
基本料3-口	19→20点
基本料3-ハ	35→37点
特別A	変更なし

加重平均
26.9点

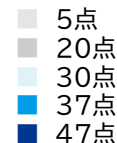


2025年6月

916

【店舗割合】

加重平均
27.6点



2026年6月

919

(連結ベース)

地域支援・医薬品供給対応体制加算

※地域支援体制加算とGE調剤体制加算が統合

2025年6月

GE医薬品
調剤体制加算

加重平均
28.9点

加重平均
12.1点

加重平均
41.0点
合算数値

【店舗割合】

加重平均
40.5点



2025年6月

916

地域支援体制加算

1.5%

36.9%

26.4%

34.2%

2026年6月

919

(連結ベース)

東名阪エリアをメインにM&A・新規出店による規模拡大を推進

	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3	2027/3 1Q
新店	18	16	15	21	16	18	10	4
M&A	39	18	15	48	17	26	9	0
売店	3	0	1	1	2	1	0	0

- ローソクオール薬局が50店舗に到達
- 8月も名古屋エリアでM&Aを実施し、東名阪の店舗数が増加

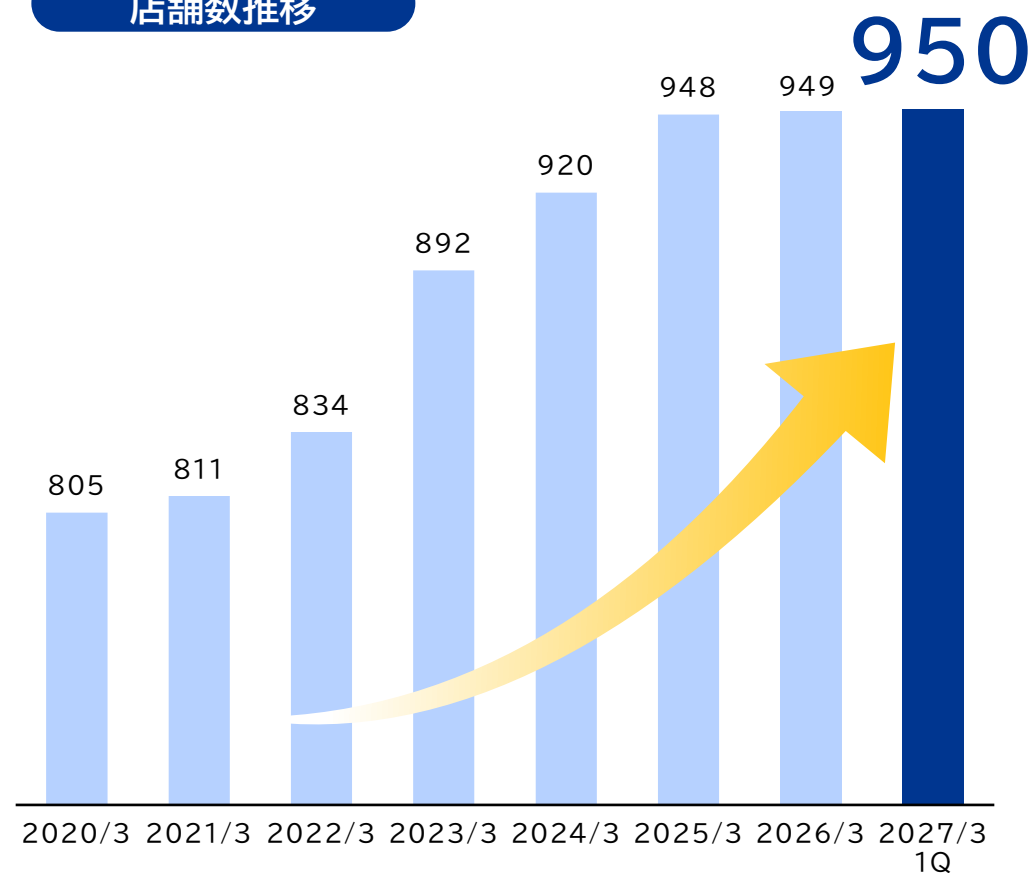


(ローソクオール薬局中央林間二丁目店 神奈川県)



(みどり調剤薬局春岡通店 愛知県)

店舗数推移





増収増益

CSO事業において、派遣MR活用ニーズの増加を背景として派遣数が増加

	2026年3月期 第1四半期 実績	2027年3月期 第1四半期 実績	増減率
(単位: 百万円)			
売上高	3,483	3,836	10.1%
セグメント利益	493	649	31.5%

・CSO(MR派遣)が前年比で2ケタ増収し、BPO事業の成長を牽引

BPO事業の内訳



CSO(MR派遣)／CRO※

高付加価値なMR派遣/
医薬品・食品等の開発業務受託

セグメント内
売上割合

約60%



医療系人材紹介派遣

薬剤師や保健師等の
医療系人材を紹介・派遣

セグメント内
売上割合

約30%



医療系出版関連

医療・医薬情報資料の
企画制作及び出版

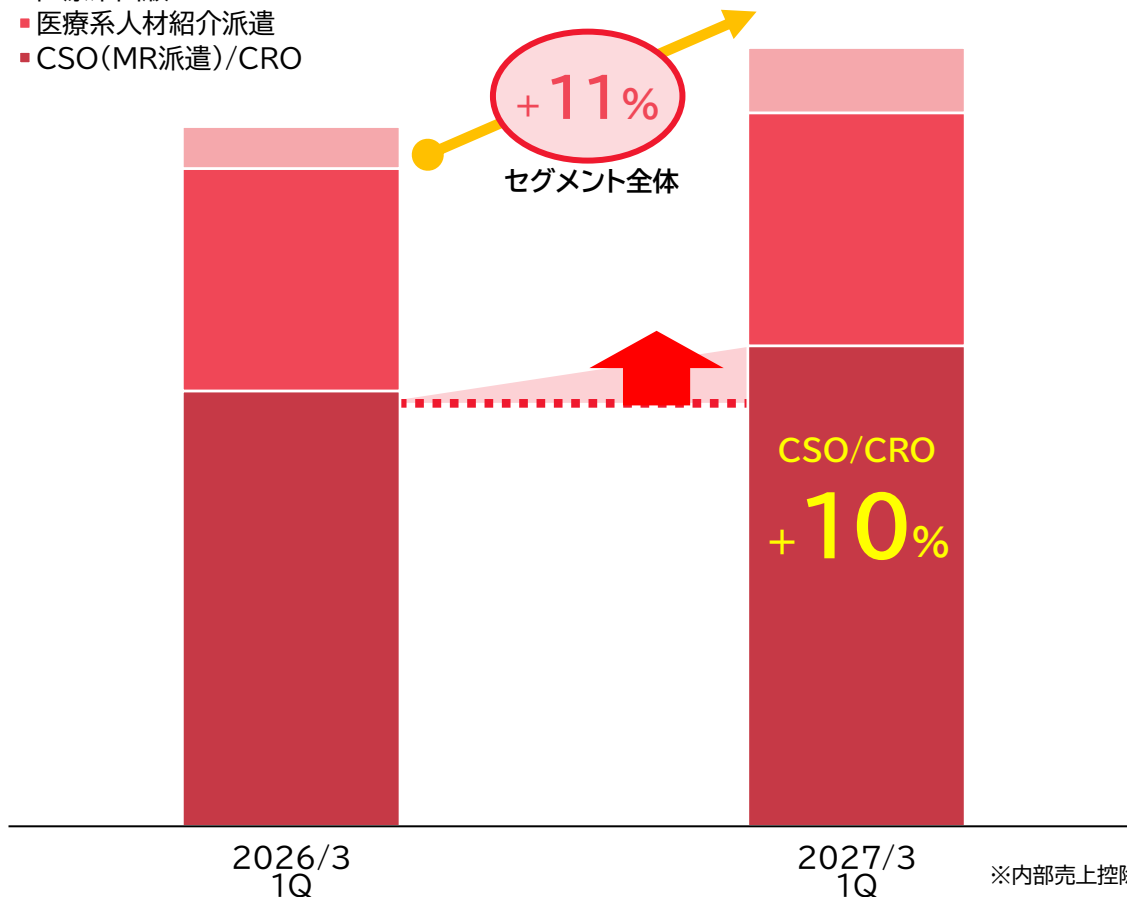
セグメント内
売上割合

約10%

※ CRO事業：臨床試験支援

売上高

- 医療系出版
- 医療系人材紹介派遣
- CSO(MR派遣)／CRO

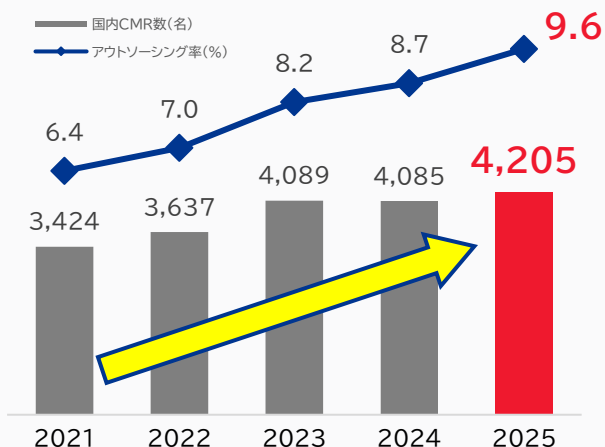


日本のCSO市場拡大を追い風に、**専門性**を強みとして**事業成長を加速**

01

市場環境

拡大するCSO市場

国内市場は、**過去最大** 規模へ

市場成長余地

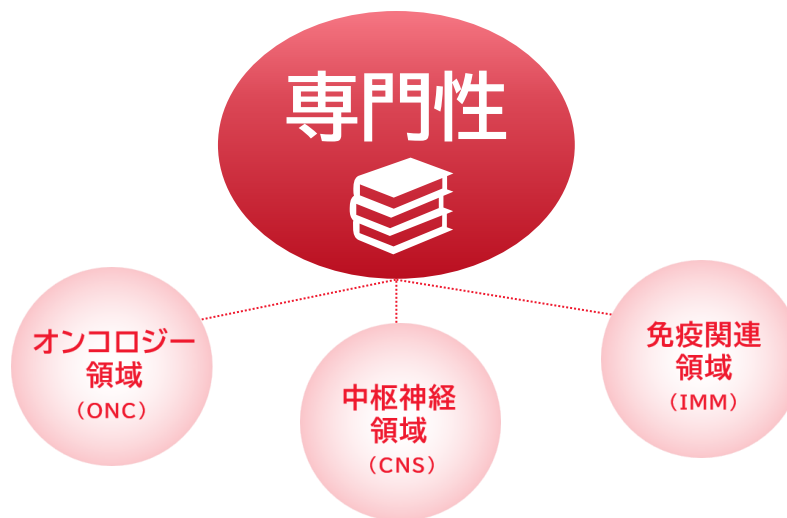
欧米と比較して日本のCSO活用は拡大余地が大きく、更なる市場成長が期待される

※出典 日本CSO協会「わが国のCSO事業に関する実態調査」の概要 -2025年度-

02

当社の強み

専門性の追求による差別化



03

成果

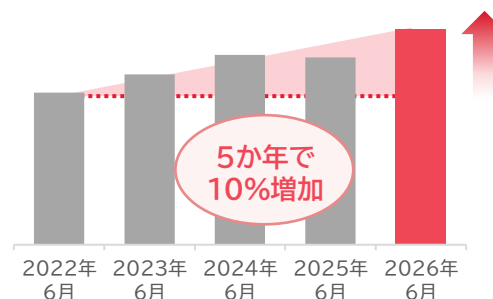
市場成長を上回る受注拡大

質の向上

✓ 派遣単価の改善

量の向上

✓ 派遣MR数の増加



パイプラインの向上

✓ 取引社数の増加



増収増益

2026年3月期に発売した2成分5品目が大きく寄与し、既存品の原価低減も実現

(単位:百万円)	2026年3月期 第1四半期 実績	2027年3月期 第1四半期 実績	増減率
売上高	25,407	26,381	3.8%
セグメント利益	2,315	4,940	113.3%

主な増減要因



- 薬価改定(4月)
- 第一三共エスファ株式保有割合増加(4月:51%→80%)

- 薬価改定(4月)
- 新製品発売数:1成分
(AG1成分、2026年6月発売)
- 選定療養制度の見直し(6月)
後発医薬品使用促進

初動出荷が第1四半期業績に寄与

1成分2品目を2026年6月発売

AG



ビラノア®錠20mg
ビラノア®OD錠20mg

ビラスチン錠20mg「EP」
ビラスチンOD錠20mg「EP」

アレルギー性
疾患治療剤

1成分2品目を2026年7月発売

GE



フォシーガ®錠5mg
フォシーガ®錠10mg

ダパグリフロジン錠5mg「EP」
ダパグリフロジン錠10mg「EP」

選択的SGLT2
阻害剤

クオールグループ入り後も、**着実な新製品の発売**及び**原価低減策**を実施

	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	前年同期比 増減額(率)
売上高	248 億円	260 億円	+11 億円 (+4.7%)
営業 利益	23 億円	53 億円	+30 億円 (+130.6%)

要因

✓ 前期 新製品寄与

✓ 今期 新製品寄与

✓ 原価低減策推進

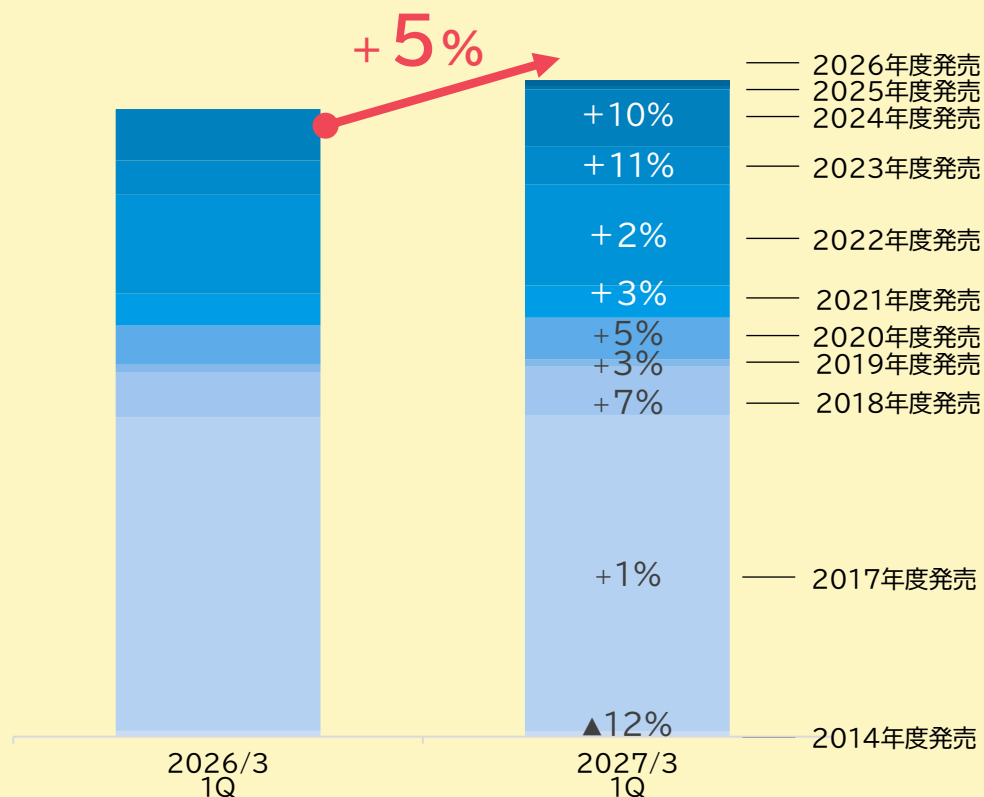
※連結消去・連結調整は除く

主要製品の出荷数量※は伸長

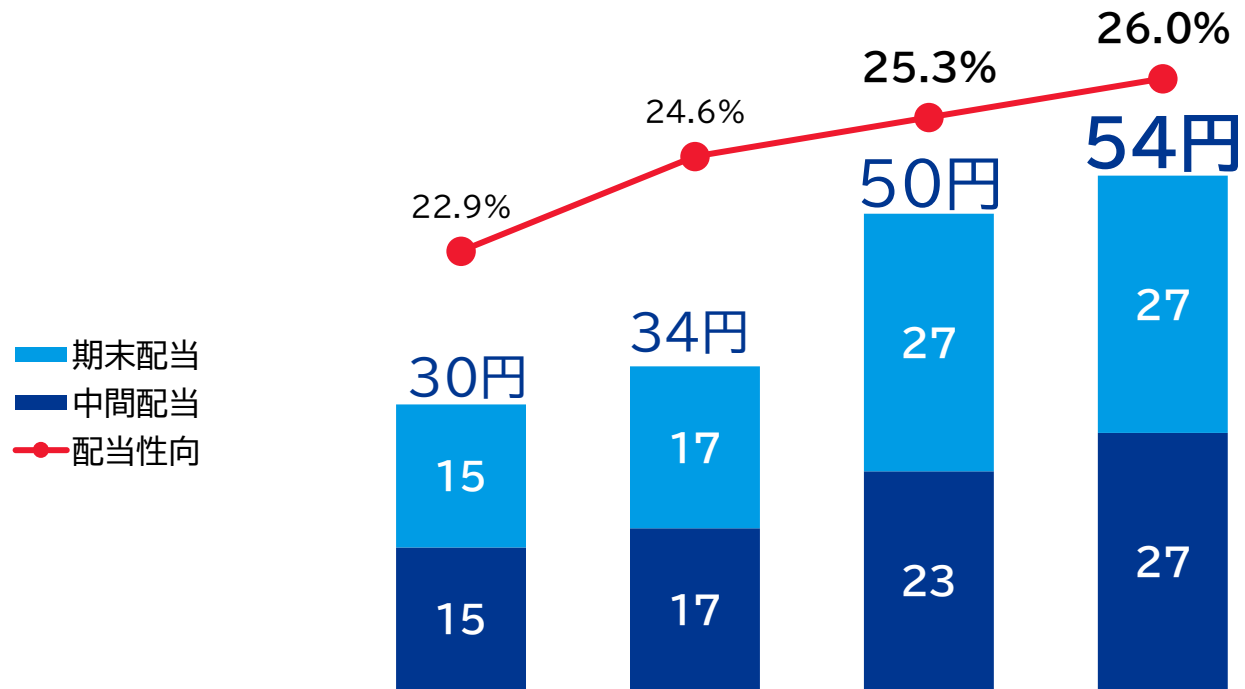
(前年同期比+5%)

主要製品 出荷数量※推移

※医療機関等（病院、薬局）へ出荷した医薬品数量



発売年度	一般名	主な使用用途
2014年度	レボフロキサシン	抗菌剤
2017年度	テルミサルタン テルミサルタン/アムロジピン テルミサルタン/ヒドロクロロチアジド オルメサルタン ロスバスタチン	降圧剤 降圧剤 降圧剤 降圧剤 高コレステロール血症治療剤
2018年度	レボフロキサシン点滴 シロドシン ゲフィチニブ	抗菌剤 排尿障害改善薬 抗がん剤
2019年度	ビカルタミド アナストロゾール タモキシフェン	抗がん剤 抗がん剤 抗がん剤
2020年度	メマンチン塩酸塩 エゼチミブ	アルツハイマー型認知症治療剤 高コレステロール血症治療剤
2021年度	ボルテゾミブ カルベジロール ピルシカイニド塩酸塩	抗がん剤 慢性心不全治療剤 不整脈治療剤
2022年度	アゾセミド フェブキシostat	利尿剤 高尿酸血症治療剤
2023年度	ビソプロロール fumarate	降圧剤
2024年度	リバーロキサバン ロキソプロフェンNa テープ ヒドロキシクロロキン 硫酸塩	選択的 direct 作用型 第Xa 因子阻害剤（経口抗凝固薬） 経皮吸収型鎮痛 抗炎症剤 免疫調整剤
2025年度	プラスグレル錠 アピラテロン酢酸エステル錠	抗血小板剤 前立腺癌治療剤（CYP17 阻害剤）
2026年度	ピラスチン	アレルギー性疾患治療剤



(円)	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期	2027年 3月期
中間	15	17	23	27
期末	15	17	27	27
年間合計	30	34	50	54
配当性向(%)	22.9	24.6	25.3	26.0

4期連続 増配(予定)

配当方針

累進配当

2027年3月期の業績拡大を見込んで、
更なる増配を予定

2026年3月期
年間配当

50円

2027年3月期
年間配当予想

54円 (+4円)

【IRお問い合わせ】

クオールホールディングス株式会社 広報部

TEL:03-6430-9060

FAX:03-5405-9012

E-mail:ir@qol-net.co.jp

お問い合わせページ:<https://www.qolhd.co.jp/inquiry/>

【免責事項】

本資料および参考資料の内容につきましては、株主・投資家の皆さまへの情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料に将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な要素により、これら見通しと大きく異なる結果となりうることもあり、確約や保証を与えるものではありませんのでご了承ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する決定は、株主・投資家の皆さまのご判断において行われますようお願いいたします。



あなたの、いちばん近くにある安心